

土・ひと・くらしをつなぐ、香川の交流誌

きらり

1

2021 JANUARY

令和3年
3月下旬

JA香川県「道の駅滝宮」
ファーマーズマーケット(仮称)がオープンします！

【らいふスペシャル】

女性部と青壮年部とJA香川県

新春特別会談

【めぐりスペシャル】
これまででも、これから、手を携えて。

JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

JA香川県では
「新型コロナウイルス
感染症対策本部」を
設置し、感染防止に
取り組んでいます。

迎春

ロメインレタスで
地域も人も元気にする。
我らが“ぶきやいちょう”！



新春特別会談

これまでも、これからも、手を携えて。
女性部と青壮年部と
JA香川県



香川県農協 青壮年部
委員長 那須 勇助さん



JA香川県 女性部
部長 片山 紀代さん



JA香川県
代表理事理事長 木内 秀一

新年明けましておめでとうございます。

「きらり」の新春企画は、当組合を支える女性部と青壮年部の長であるお二人と、木内理事長の三者会談をお届けします。日頃取り組んでいる活動のこと、香川県の農業やSDGs（国連の持続可能な開発目標）、地産地消への思いなどについて語っていただきました。

令和2年 JAと女性部、青壮年部の 概況と活動

司会 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。まず初めに、木内理事長に、当組合の昨年の取り組み成果についてお話しいただきます。

木内理事長 令和2年は、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。インバウンドの消滅や外食需要の減少などにより肉牛や花きの価格が暴落するなど、組合員の農業経営にも大きな影響があり、当組合にとっても本来の協同組合活動が展開できないことが多々ありました。

このような中で、組合員の農業経営

の安定化と県産農畜産物の消費拡大を図るため、2億円規模の「新型コロナウイルス感染症緊急対策事業」を創設したほか、政府が実施する「経営継続補助金」や「高収益作物次期作支援交付金」の申請支援を行ってきました。また、11月以降には香川県内で高病原性鳥インフルエンザの発症が相次いで確認され、香川県などと連携し、消毒資材の提供や要員派遣など、早期の防疫措置完了に向けた支援を行いました。

司会 さて、当組合は「農業振興・地域活性化アクションプログラム」を策定し、「女性部・フレッシュミズ部会」の諸活動との連携による地域の活性化「青壮年部との連携による農業振興を通じた地域の活性化」の施策に取り組んでいます。片山部長、那須委員長、両組織の概況と主な活動をご紹介します。

片山部長 JA香川県女性部の部員数は令和2年9月30日現在で11,758名、地域女性部数は26地域、支部女性部数は106支部です。地域を明るくするさまざまな活動を仲間とともに、楽しみながら行っています。主な活動としては、「ミミ（ゼロ）530」清掃活動や、地域の農畜産物を使った地産地消料理の普及推進などです。令和2年3月にはJA香川県合併20周年記念事業の一環として、次世代に伝え

るためのレシピ集「伝えよう 繋げよう かあちゃんのお味」をつくってんまい たべてんまい おいしいでえ」を発行しました。また、各地域では地域の実情や特色を生かした活動、部員の希望に合った活動を行っています。

那須委員長 香川県農協青壮年部の盟友数は令和2年9月30日現在で652名、支部数は14支部です。主な活動とし

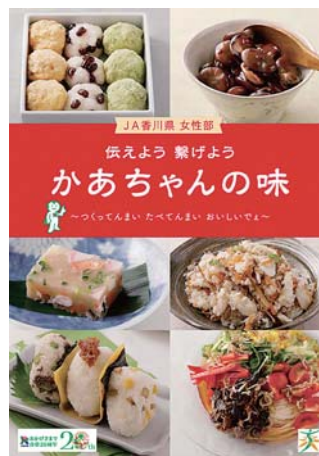


【司会】JA香川県総務部部長 森 雅彦（写真右）

では、JA役員との意見交換会、香川県幹部との意見交換会のほか、盟友を対象とした相互研修会やスポーツ交流大会、県外視察研修、婚活イベントです。また、中国・四国地区JA青年大会、JA全国青年大会にも参加しています。

木内理事長 「ミミ（ゼロ）530」清掃活動は私も参加したことがあります。女性部の皆さんと職員や各種団体の皆さんが一緒に活動することで、地域の一体感が醸成できています。

青壮年部とは、スポーツ大会に参加するなどして盟友の皆さんと交流しています。また、女性部、青壮年部と当組合の役員は定期的に意見交換を行っており、そこでもいただいたご意見をJAの事業運営に活かしています。



レシピ集掲載の「かみなり寿司」を紹介する片山部長

JA香川県合併20周年記念事業で発行したレシピ集



片山 紀代さん

令和2年5月、JA香川県女性部部長に就任。
高松南部地域女性部部長。米麦やキュウリな
どを栽培。趣味は和太鼓。

JAと両組織の絆を 深める「支店協同活動」

司会 当組合が自己改革の一環で取り組んでいる「支店協同活動」にも、両組織の多くの方々に協力いただいていますね。

片山部長 「支店協同活動」に女性部も参加し、職員や地域の皆さんと一緒に企画・運営する機会が増え、絆が深まっています。また、女性部活動のPRの場にもなっています。

那須委員長 青壮年部が関わるのは、自治体や地域の商工会と連携した地域のイベントへの出店、JAふれあいまつりへの参加のほか、食農教育が多いです。子どもたちに農業体験を通じて地



青壮年部による食農体験

元産の農作物や農業への理解を深めてもらうことを目的に取り組んでいます。将来、農業に従事してくれる子どもが増えてくれたらうれしいですね。

司会 こうした支店協同活動は、「きらり」の誌面でも定期的に掲載して紹介しています。紹介した皆さんが笑顔で熱心に活動しているのがわかり、読者からの反響も大きいですね。

木内理事長 地域貢献活動の清掃活動や食農教育活動などの支店協同活動は、女性部・青壮年部との連携でより強力なものとなっています。将来にわたってJAが組合員・地域に必要とされる組織であり続けるため、女性部と青壮年部はなくてはならないパートナーです。

コロナ禍に負けず、 工夫して地域農業の 活性化を

司会 冒頭の木内理事長のお話にもありましたが、昨年は新型コロナウイルスで県内の農業生産や販売において大きな影響がありました。女性部活動・青壮年部活動はどのように対応していますか。また、今年の活動予定はいかがですか。

片山部長 大きな会場で多人数を集めてのイベント開催は難しいので、地域や支部女性部の班、グループなど小さい単位での活動を中心に行っています。

今年県域で予定しているのは、料理講習や手芸講習、「ゴミゼロ」530」清掃活動です。また、SDGsを学ぶ「リーダー研修会」、Withコロナ時代における「スマホ・アプリ研修」も計画しています。

那須委員長 密を避けるため、通常総会は書面議決で行いましたが、相互研修会・スポーツ交流大会・婚活イベント・県外視察は中止となりました。

今年、県域で予定・企画していることは、例年実施しているJA役員との意見交換会ですね。さまざまな問題についての意見を述べ情報交換の場となっています。

司会 我々JAの役職員ですが、生



JA役員と青壮年部との意見交換会

産者の皆さんも「今年こそは」と意気込みを持っている方も多いと思います。青壮年部の盟友の皆さんは、地域で担い手・リーダーとして活躍されている方も多いですね。地域農業の発展のために考えていることや取り組みはありますか？

那須委員長 農家の高齢化と担い手・後継者不足は、青壮年部においても取り組まなければならない問題です。JAとも協力して我々が地域農業を守っていかなければならないと思っています。

スマート農業への取り組みとして、ドローンを活用して請負防除をしている



那須 勇助さん

JA香川県経営管理委員、令和2年7月、香川県農協青壮年部委員長に就任。同青壮年部高松市中央支部支部長。米、キュウリ、ナバナ、軟弱野菜などを栽培。趣味は、釣りとバイク。

支部や盟友もいます。ドローンを導入することで労力負担の軽減と作業時間の短縮が図れ、米麦の品質向上と生産者の労働時間が削減され、地域農業の発展につながっています。

木内理事長 新規就農者確保策として、都会からの一ターンの就農を促進するしくみを青壮年部と共に作ってきたい。また、今後の農業経営にとって、省力化と生産性向上のために、スマート農業への取り組みがカギになると考えています。このためICT（情報通信技術）やGPS（衛星利用測位システム）技術などを活用したスマート農業の実装化に取り組んでいます。地域農業の担い手である青壮年部の皆さまとも知恵を出し合って、新たな施策を検討し実践していきたいですね。



青壮年部のドローンによる防除作業

「SDGs」にも協力して取り組みます

司会 JAグループでは、SDGsについての取り組み方針を策定し、食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合であるJAの特性を踏まえて目標を達成していくこととしています。木内理事長、JAとSDGsには共通点が多いですね。

木内理事長 協同組合の基本理念「二人は万人のために万人は一人のために」は、SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」に非常に近い関係です。SDGsの17の目標と当組合の第6次中期経営計画を関連付けて、我々の活動を見える化することで、SDGsへの取り組み意識を高め、役職員が一丸となって取り組んでいきます。



小学生への雑巾寄贈

司会 女性部、青壮年部の立場からはいかがでしょうか？

片山部長 全国のJA女性組織でもSDGsには積極的に取り組んでいます。女性部は食と農、地域に深く関わる活動が多く、その全てが、SDGsに関連しているとも言えますね。具体的には、「食を守る」「農業を支える」「地域を担う」「仲間を作る」「JA運営に参画する」の5つの活動項目でSDGsに取り組んでいます。たとえば、「ゴミ0（ゼロ）530」清掃活動などの地域の美化活動や小学生への雑巾寄贈、食農教育活動などもSDGsへの取り組みです。

那須委員長 今まで意識していません

でしたが、自分たちが食農活動や地域農業を守るなど、日頃行っている活動こそがSDGsだということですね。

司会 私たち地域に根ざした組織が、地域とそこで生活する人に寄り添った活動。それこそがSDGsの取り組みだということですね。

さて、SDGsの目標の一つにも該当するのが「地産地消」です。女性部、青壮年部として、地産地消や農産物直売所について思うところをお聞かせください。



SDGsを学んだ大川地区女性部リーダー研修会

片山部長 女性部は常々、地元産農畜産物のよさを学び、食の安全・安心に関する取り組みを行っています。その活動の一つが、地元の原材料を使った加工品作りです。女性部員がまごころをこめて手作りした加工品は、消費者の皆さんからも好評です。農産物直売所で販売しているものもあり、多くの人に味わってもらおうことで、女性部を知ってもらうきっかけにもなっています。

那須委員長 農業経営の基本が市場出荷であることには変わりありませんが、地域農業、農産物をその地域の人に知ってもらうファンになってもらうためにも、農産物直売所の役割は大きいですね。直売所は地域に根ざしていることが大切だと思うので、自転車や徒歩でも行ける距離にある、身近な存在であってほしい。そして、直売所で家族と買い物を楽しんだ子どもたちの中から、将来農業の担い手になってくれる子が育つことも期待したいですね。



みそを造る片山部長(写真中央)と女性部員ら

試練を乗り越え変革と地域活性化へ手を携えて

司会 最後になりますが、「令和3年の抱負をお願いします。片山部長と那須委員長、JAへの提言などもあれば併せてお聞かせください。」

片山部長 昨今の新型コロナウイルス感染拡大は、世界経済や多くの人々が地域のあり方や人と人とのつながりの意味を考えさせられるきっかけとなりました。私たち女性部は「できないことを嘆くのではなく、できることから始めよう」を合言葉に、Withコロナ時代の新しい生活様式に合わせて新たな活動のあり方を模索し、確かな歩みを進めていきます。

現在、地域農業のあり方やJA自己改革など、さまざまな変革が求められています。変わらないうちに、JAと女性部・青壮年部をはじめとする協力組織との関係性です。共に支え合い

協力してJAや地域を盛り立て、明るい未来を目指しましょう。

また、当女性部では、一緒に活動する仲間を募集しています。ぜひ一緒に楽しく活動しましょう！

那須委員長 昨年は、新型コロナウイルスの影響でほとんどの活動ができなかったが、今年はもっと工夫をしながら活動していきたいと考えています。

JAへの提言としては、専門性の高い職員の育成に力を入れてほしいです。そして、これからも共に手を携えて地域農業の振興と地域の活性化に取り組みしましょう。

青壮年部でも仲間を募集しています。地域を守るのは地域で生活している私たちなのです。一緒に香川の農業を元気にしましょう！

木内理事長 第6次中期経営計画の最終年度を迎えるにあたり、「農業と地域に全力投球」をスローガンに、役員一丸となって目標達成に向け取り組みます。また、将来にわたって「JA自己改革」を継続していくため、持続可能な経営基盤の確立を図ります。「物理的な距離は保ちながら心はより近く」を基本に、これからも組合員の皆さまとの対話活動を継続していきたいと考えています。

片山部長、那須委員長、本日は貴重なお話をありがとうございました。

来たれ、青壮年部へ

- JA香川県の組合員(家族含む)なら加入できます。
- 兼業農家也大歓迎。
- 年齢制限はありません。

【お問い合わせ先】 JA香川県営農部営農企画課
TEL087-818-4140

女性部の仲間になりませんか

- 農家でなくても、組合員でなくても入れます。
- 年齢制限はありません。
(～40歳代の方へはフレッシュミズ部会への入会をおすすめしています)。
- 年会費は、500円(活動によっては別途費用がかかるものもあります)。

※お申し込みは、最寄りのJA香川県各支店・出張所、女性部役員までお気軽にどうぞ！

【お問い合わせ先】 JA香川県総務部組織広報課
TEL087-825-1233

JA香川県「道の駅滝宮」 ファーマーズマーケット がオープンします！

らいいふ special



令和3年
3月下旬

JA香川県は今春3月、ファーマーズマーケット2号店がオープンする運びとなりました。組合員・「きらり」読者の皆さまに、一足早くその概要をお知らせします。



画像は完成予想図

右側の棟がファーマーズマーケット2号店

JA香川県「道の駅滝宮」ファーマーズマーケット(仮称)は、綾川町の道の駅「滝宮」がリニューアルされるのに合わせ、これまで同敷地内で営業していた「ふれあい産直市道の駅・滝宮」と同町内の「ふれあい産直市綾南」を統合して、新たにファーマーズマーケットとして新築オープンするものです。香川県内の「道の駅」に当JAの農産物直売所があるのは唯一ここだけです。

この道の駅「滝宮」では、昨年12月13日に「部施設(セルフうどん店、地域食材レストラン、土産物ショップ)」が先行オープンしました。ファーマーズマーケットおよびスイーツショップが、本年3月下旬のグランドオープンに合わせて開店することになっています。

オープン時、またオープン後は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しつつさまざまなイベントを開催して、地域の活性化と香川県の農業を盛り上げていきます。特に、周辺はイチゴの産地であることから、イチゴをメインとした販売イベントなどを計画しています。詳細は本誌「きらり」や当JAホームページなどで随時お知らせします。

当JAでは、組合員や地域住民に安全安心で新鮮な農畜産物を味わってもらうため、県内で27の農産物直売所を運営しています。丸亀市飯山町ではその大型店舗であるファーマーズマーケット「讃さん広場」が営業中です。ファーマーズマーケットの特徴は規模(店舗面積)の大きさに加え、県内全域から出荷者を募り、当JA集荷場の特産品や全国のファーマーズマーケットから珍しい商品を直接入荷することで、よりバラエティに富んだ品ぞろえをしていることです。ぜひ、ご利用ください。



店舗の特徴は？

ココがポイント！



野菜・果物・加工食品など通常の品ぞろえに加え、観光客用土産物も取りそろえます。



精肉、鮮魚、加工食品（豆腐、コンニャク、寿司など）、
冷凍食品、調味料、惣菜なども販売

写真はイメージです。

フリースペース・イベントスペースでは、旬の農産物を豊富にそろえて季節感とにぎわいを演出します。

「試食コーナー」では、野菜や果物などの試食ができます。

イチゴなど旬の香川県産農産物と牛乳を使ったジェラートの製造販売を行います。



生産者の皆さまへ

出荷会員募集中！

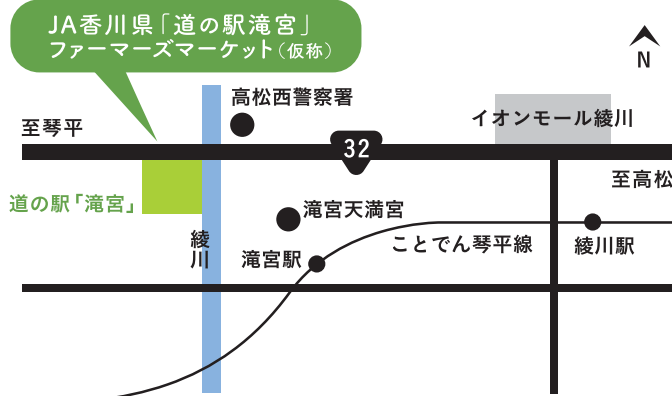
自らが生産した自慢の野菜や果物、加工食品などをJA香川県「道の駅滝宮」ファーマーズマーケット（仮称）に出荷してみませんか？ 同店は、高松から琴平に向かう国道32号線沿いで、さらに高松空港からも近い立地です。県内・県外をはじめ、海外からの観光客の来店も見込んでいます。ぜひ出荷会員になって一緒にファーマーズマーケットの“にぎわい”を作りましょう！

JA香川県「道の駅滝宮」ファーマーズマーケット（仮称）

綾歌郡綾川町滝宮1578
営業時間：9:00～18:00
駐車場：約150台
定休日：毎週火曜日・年末年始
売場面積：約500㎡

【お問い合わせ先】

JA香川県経済部 店舗総合課 TEL087-818-4163



今月は

“農”についての知識を深めよう

よい種・よい苗とは

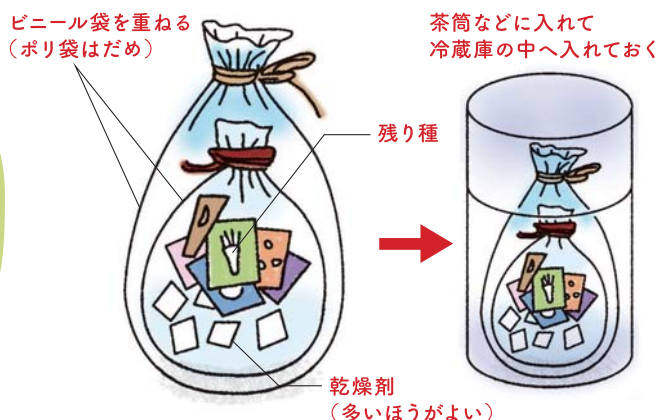
今月は家庭菜園の基礎知識の一部を紹介・解説します。今後の家庭菜園にお役立てください。

種、苗を買うときのコツ

種子は、種苗会社による元詰め種子と店頭詰めの種子があります。元詰め種子は多少高価ですが品質はお墨付きです。また、一代雑種（F₁）の種が多く出回っています。F₁は病気に強く育てやすいので、買う時の目安にしてください。ただし、F₁から採れる種をまいても、品質、耐病性などの性質が親と異なる場合があります。F₁以外の品種なら、採取した種やまき残りの種は、上手に保存すれば、翌年も利用できます（図1）。

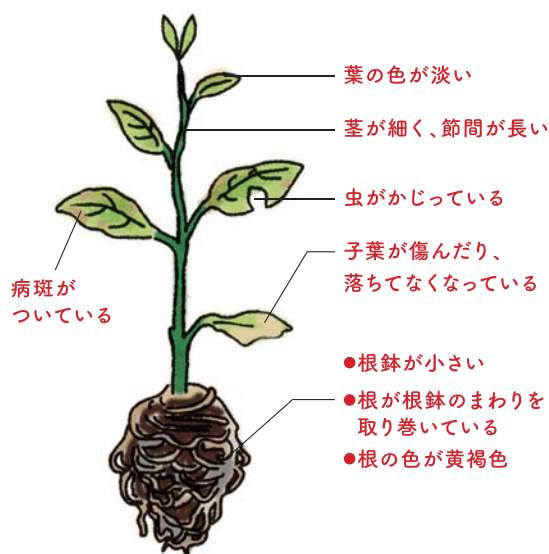
初心者や、少量しか作らないときは、苗を購入したほうが便利なときもあります（図2）。最近はポットで育てられた苗が出回るようになったので、用土のたくさん入った大きめのポットで育てられた苗を選ぶ手もあります。多少難のある苗しか入手できないときは、すぐに植え付けるより、大きめのポットに植え替えて、しばらく育て直してから植え付けましょう。

【図1】残り種の貯蔵の仕方



【図2】ポット苗の選び方

悪い苗



よい苗

